

平成30年 第3回議会定例会

快適な教育環境の実現へ 中学校長寿命化工事請負契約締結



8月下旬から長寿命化工事が着工予定の黒川橋

平成30年第3回議会定例会は、6月5日から18日までの14日間開催されました。町側からは30年度総合開発公社事業計画及び予算、放棄した私債権3件、29年度一般会計補正予算の繰越の報告、専決処分の報告2件と、29年度7会計の補正予算、条例の一部改正2件の専決処分の承認、また議案では工事請負契

約の締結2件、消防団消防ポンプ自動車購入売却の締結1件、30年度一般会計補正予算、条例の一部改正2件、人事案件1件が提案され、慎重審議の結果、原案どおり受理、承認、可決、同意しました。一般質問には10人が登壇し農業、観光振興、消防団への対応、空き家対策、教育福祉などの諸問題をただしました。

議会だより

YAMANOUCHI TOWN COUNCIL

第113号
平成30年7月25日
(2018)
発行 山ノ内町議会
責任者 議長 西 宗亮
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡
山ノ内町大字平穏3352-1
☎0269-33-1101 (有)2020
E-mail
gikai@town.yamanouchi.nagano.jp

議会ホームページと
議会フェイスブックは
町ホームページからアクセス



もくじ

第3回定例会関連記事	16
一般質問	18
補欠選挙、全員協議会	29
常任委員会視察報告	30
追悼記事	32
みんなのひろば・編集後記	33

30年度一般会計 補正予算 (第1号)

歳入歳出それぞれ905万円を追加し総額71億4505万円とするもので全会一致で可決しました。

○県道宮村湯田中停車場線
道路改良負担金
109万円

専決処分の報告

○林道陥没における事故に係る和解及び損害賠償額の決定
○信濃中野税務署駐車場内における事故に係る和解及び損害賠償額の決定

- 繰入金
 - 財政調整基金繰入金 696万円
- 諸収入
 - コミュニティ助成 40万円
 - スポーツ振興くじ助成金 188万円
- 〈歳出の主なもの〉
 - 防犯灯設置補助 100万円
 - 土地改良事業(上条・佐野) 150万円
 - 地域の元気、魅力づくり事業 100万円
 - 陥没や消雪など道路修繕 100万円



本年度はスポーツ振興くじ助成金があてられる志賀高原ロングライド

29年度一般会計 補正予算（第8号）

歳入歳出それぞれ2億3536万円を減額し、予算総額を69億1043万円とするものです。

町道除排雪は寡雪のため4829万円減額。財源調整基金からの繰り入れを3億1700万円減額（皆減）しました。

〈歳入の主なもの〉

○ふるさと寄附金 △1503万円
○財政調整基金繰入金 △3億1607万円

〈歳出の主なもの〉

○町道除排雪 △4829万円
○福祉医療費 △887万円
○児童福祉費 △1200万円
○心身障害者等福祉費 △1609万円
○公共下水道特別会計繰出金 △1087万円
○特別交付税 7892万円

29年度国保特別会計 補正予算（第5号）

保険給付費9億9289万円

平成15年度以来10億円を下回る

歳入歳出それぞれ2110万円を減額し予算総額を19億4933万円とするものです。

歳入の国庫支出金などを減額。基金積立金を3600万円増額し、総額1億676万円としました。

報告

放棄した私債権

〔水道料金〕

放棄した私債権の件数は216件（債務者19名）、額は800万円となっております。

〔有線放送電話使用料〕

放棄した私債権の件数は246件（債務者19名）、額は45万6957円となっております。

〔空き家の店舗活用事業補助金返還金〕

放棄した私債権の件数は1件、額は200万円となっております。

条例の一部改正

本会議において、一部改正2件は全会一致で原案とおり可決しました。

行政手続条例の一部改正

行政機関に対し、町民が条例に違反する事実を発見した場合に処分などを求めることができる手続や、事業者などが行政指導の中止を求めることができる手続などが加わるものです。

資金積立基金 設置条例の一部改正

中山間ふるさと・水と土保全基金1億3475万円、平成5年度から29年度まで、土地改良施設等の整備事業及び農業振興に係る事業に活用されました。29年度末で基金残高0円となったため、その項を削るものです。

賛成討論

渡辺 正男

基金の原資は、ガット・ウルグアイ・ラウンド農業合意で農林漁業に多大な影響が出ることに対応するために国から交付されたもの。町には計1億3000万円が交付された。基金活用事業は12年度から水路などの改修工事、農業振興施策にも充当されてきた。基金は枯渇したが、今後は有利な補助制度やふるさと寄附制度などの活用で財源確保に積極的に取り組んでほしい。

契約の締結

○国補 中学校長寿命化改修工事（一期・二期）請負契約
契約金額 7億8300万円

○消防団消防ポンプ自動車購入売買契約
契約金額 2106万円

○30年度橋梁補修（橋梁長寿命化）工事請負契約
契約金額 7786万円

※金額はすべて消費税込み

人事案件

「教育長」

柴草隆氏の任命に同意（前任者の任期満了による新任）
柴草 隆（56歳） 角間



任期は30年7月1日から33年6月30日



中山間ふるさと・水と土保全基金を活用して整備された農地

ズバリここが知りたい

論戦 農業、観光振興、消防団 など

6月7日、8日、11日の3日間にわたり行われました。

一般質問とは、住民から重大な期待と関心を持たれる大事な議員活動です。議員がその市町村の行政全般にわたって、執行機関の疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。議員主導による政策議論であることから、執行機関も十分な準備が必要となるため事前通告を行います。

質問者1人の質問時間は25分です（答弁を含めて概ね1時間）。

今議会の登壇議員は10人、傍聴者は13人でした（大勢の傍聴をお待ちしています）。

①	 徳竹 栄子	<ul style="list-style-type: none"> ・ベイル町および他の友好提携している都市との友好交流事業について ・小学校防災避難訓練について
②	 小林 克彦	<ul style="list-style-type: none"> ・人口問題について ・旧北小校舎の利用について ・農業のIoT活用について ・楽ちんバスの運行について ・民泊新法について
③	 小淵 茂昭	<ul style="list-style-type: none"> ・農林業の現状と今後の対応は ・高齢化が進む町の対応は ・有線放送廃止に伴う対応と体制整備は
④	 山本 光俊	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税（寄附金）夢・ワンパクこども応援貨について ・青少年健全育成のための連携強化について ・ジュニアスキー育成連絡協議会について
⑤	 渡辺 正男	<ul style="list-style-type: none"> ・ロマン美術館の運営について ・各種イベントの相次ぐ廃止をどう考えるか ・楽ちんバス本格運用にどう取り組むか ・新学習指導要領への対応は
⑥	 高田 佳久	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化防止対策の推進を ・空き家対策の取り組みを
⑦	 望月 貞明	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策について ・若年層人口減少時代の消防団について ・夜間瀬川（横湯・角間川）両岸道路について ・生産性向上特措法への対応について
⑧	 布施谷裕泉	<ul style="list-style-type: none"> ・観光振興施策の現状と方向性について ・農業振興施策について ・介護環境の充実に向けて
⑨	 山本 良一	<ul style="list-style-type: none"> ・観光産業について ・志賀草津道路の通行止めについて ・志賀高原ロマン美術館について ・消防団運営について
⑩	 児玉 信治	<ul style="list-style-type: none"> ・第6次山ノ内町行政改革大綱について ・農業振興について ・消防団の機構改革について ・図書館の利用について

町の活性化に国際交流をどう活かすか

町長一幅広い交流推進で産業経済につなげる

質問 ベイル町との年間行動計画AAPは戦略的計画が求められる。進捗状況は。

総務課長 ベイル町と友好交流提携都市であるメキシコのサンミゲル市を参考に計画作成中。

質問 計画作成に、東西南北問わず、企業、団体、個人の意見を聞くお考えは。

総務課長 交流事業内容に応じ、関係団体や町民参加を視野に入れ検討して行く

質問 友好交流都市でない白馬村、白馬リゾートとベイルリゾートが世界55のスキークルパスで企業提携したこの現状をどう考えるか。

町長 私もびっくりした。県、白馬村に実態を確認した。志賀高原索道協会と可能なのか、県とともに十分調査しベイルリゾート社へ

訪問し対応を考える。



ベイル町のアクティビティスポーツ マウンテンコースター
夏シーズンには120万人が訪れる

質問 志賀高原だけでなく北志賀高原を含めた中で、当町のビックマウンテンリゾートと考えると、索道関係者と協議し、「エピックパス」

実現を考えるべきではないか。北志賀高原に対してはどう考えているのか。

町長 志賀高原だけと答えだが、スノーモンキー、湯田中渋温泉郷の中で言葉定

らすの部分で北志賀高原も含めた意味で、追加する。

質問 ベイル町のような世界に通用するスキー場安全条例策定に向け、事業者、町職員の研修も必要と考えるが。

町長 業界の方々、国の支援をいただき対応したい。アドバイスをお願いする。

質問 交流を進める中で、県や知事に人的・対外的支援の協力要望する考えは。

町長 国際交流推進の観点から県国際課と連携し協力支援を要望していく。

小学校防災避難訓練(東小学校)

質問 小学校敷地の一部が、崖崩れ特別警戒区域である。避難場所・経路の決め方は。

し外していく。

教育長 裏山のレッドゾーンは、校長、教職員が熟知し、避難経路は第1第2避難場所など設定されている。

質問 崩れ落ちた土砂は、山(崖)の高さの2〜3倍の距離まで届くとのこと。それを想定しての避難場所なのか。

教育長 その点については想定していないが、関係機関と連携し安心・安全を守っているので大丈夫と認識している。

質問 学校施設の場所として適正か。

町長 レッドゾーン指定が建設後であり現時点では、やむをえない。最大限の防災対応をし、安全第一が行政の責任である。今後はレッドゾーンの場所へは意識

し外していく。

し外していく。

し外していく。

し外していく。



とくたけ えい こ
徳竹 栄子

※AAP: Annual Action Programsの略。ベイル町と当町が国際友好都市交流協定に基づき、目的を達成するため両当事者が作成する年間行動計画。

友好交流都市でない白馬村白馬リゾートがベイルリゾートと共通リフト券エピックパスへ加入、先を越され残念。

徳竹栄子のつぶやき

旧北小校舎特別教室棟の後利用は可能か

町長—調査費用を計上している



こばやし かつひこ
小林 克彦

※IoT：Internet of Thingsの略。物のインターネットと呼ばれ、家電から工場全体まで全てを統合し自動化するためのシステム。

質問 昭和40年代の鉄筋コンクリート建物にある工法上の問題や建築時のトラブルなどからみて、これから先の使用に耐え得るか。

町長 必要な調査を行う。

質問 校舎の屋根は改造されて落雪型となっているが雪の落場に余裕がなく、そのために排雪などをしなければ建物に損傷する状態であり入念な調査が必要である。

総務課長 経過年数に比べ大分傷みがあると感じているので調査を実施する。

質問 地元要望は管理棟は利用する。他の箇所については町が計画する公民館施設の整備も難しいと考える



懸念される特別教室棟の維持費（旧北小校舎）

ので不要箇所は全て取り壊すことを提案しているが。

総務課長 要望を踏まえ、調査したあとに協議したい。

質問 桑ちゃんバスの料金を交通会議で全路線1000円としたことは評価できる。

併せて西北部ルートの乗り換えなしについての議論は。

総務課長 既存営業路線に悪影響をおよぼしかねないため乗り換え式としたもの。

質問 乗り換えの不便は残るが要望の多かった低料金の実現をもって正規運行に入ると解釈するが。

総務課長 ルートの工夫や低料金をご理解いただきたい。

質問 民泊新法が施行されるが法の趣旨は。

観光商工課長 公衆衛生の確保、地域住民とのトラブル

防止、違法民泊の防止などを目的としている。

質問 家主不在型は観光地の良好な環境を保つ上で懸念がある。京都市は駆け付け時間が10分以内であるが長野県はどうか。

観光商工課長 30分。

質問 立法の趣旨によれば年間を通して駆け付け時間は、京都市類似か、町内在住が望ましいのでは。

観光商工課長 山ノ内町の特例化は難しいが、必要に応じ県に要望をしていく。

質問 中野市の農業のIoTの取り組みの所感は。

農林課長 品質向上や省力化を目指しており、関係者

と検討していきたい。

質問 第5次後期計画の人口目標の達成見込みは。

総務課長 本年4月1日現在ですでに下回っている。

質問 人口減少の原因のうち特に問題なのは、年々低下する出生数の減少である。その原因として晩婚・非婚が指摘されている。社協が新たに県の結婚相談所に参加したが、町との連携は。

健康福祉課長 本人が社協に申し込み、社協が本体に登録する流れだ。

質問 待ちの姿勢ではなく、個人情報管理を踏まえ課内に結婚支援係を新設して登録を積極的に推進すべき。

農林業の現状と今後の対応は

町長—志賀高原ブランドとしての農産物は高い評価である

荒廃農地の現状と実態は

【質問】 各地区の実態状況はどうか。

【農林課長】 毎年8月に農業委員会において、農地ハートールを実施しており、東部地区21ha、南部地区26ha、西部地区18ha、北部地区63ha、合計128haとなっている。

【質問】 耕作地の真ん中に放棄された農地が最近あるが。

【農林課長】 農地として再生困難とみなした場合は、非農地決定の事務処理の上、山林、原野などに地目変更をお願いする。

【質問】 太陽光発電の用地として荒廃地利用の可能性は。

【農林課長】 太陽光発電施設導入には、売電につながるので助成にはクリアすべき



奥の繁みも荒廃化した田んぼ（西部地区）

高齢化が進む町の対応は

【質問】 高齢化と今後の動向についてどう見ているか。

【町長】 少子高齢化は全国的傾向であるが人口減少対策は喫緊の課題である。子育て支援、移住定住対策など幅広く支援メニューを用意して取り組んでいる。

【総務課長】 高齢化率の試算では平成32年は39・4%、24年は42・8%と推計している。

【質問】 ひとり暮らしの実態とその対策は。

【健康福祉課長】 29年度のひとり暮らし高齢者世帯数は、東部268世帯、南部120世帯、西部61世帯、北部73世帯の計522世帯

となっている。民生児童委員が定期訪問し、情報提供や支援を行っている。

有線放送廃止への対応は

【総務課長】 今年度末で廃止となる。防災無線整備にあわせ、登録者には防災・行政情報をメール配信する。

【質問】 防災無線の難聴地区対応は。

【消防課長】 皆さんの意見を聞き、今年度の中で検討する。

【質問】 有線柱の撤去や各家庭の機器処分はどうか。

【総務課長】 2か年で柱やケーブルの撤去をする。また電話機は一斉回収や役場への持ち込みなども対応したい。



おぶち しげあき
小淵 茂昭

※農業中間管理機構：高齢化や後継者不足などで耕作を続けることが難しくなった農地を借り受け、認定農業者や集落営農組織などの担い手に貸し付ける公的機関。都道府県に一つずつ設置され、農地の集約化や耕作放棄地の解消を推進する。農地バンク。

情報時代と言われて
いるが、意外と真意が
伝わらないのは思惑
優先なのか！
情報は正確に伝えま
しょう。

小淵茂昭のつぶやき

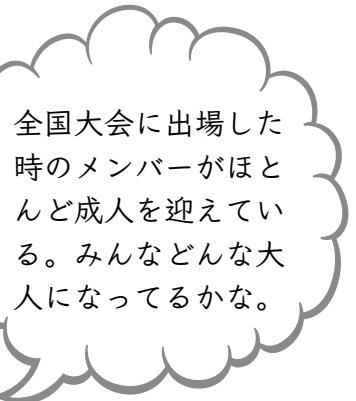
青少年健全育成支援策の充実を

町長—将来を担う子供たちの健やかな育成を推進する



やまもと みつとし
山本 光俊

※：全日本ソフトボール協会主催による全日本小学生女子大会。かつて町の選抜チームが08'春季・夏季大会、09'年春季大会に3季連続で出場した。



山本光俊のつぶやき

青少年健全育成

質問 中学校専門部活動助成金70万円の算出方法は。

教育長 明確な算出根拠は設けていない。

質問 このほか部活動への直接的な支援策はあるか。

教育次長 そのほか直接交付する予算はない。

質問 中学校スポーツ文化活動後援会費は町からの補助金の約3倍を育成会などの役員が各戸を回って趣旨説明をし集金している。この現状をどう考えるか。

教育長 以前からそのような対応だと聞いています。

質問 集金する労力や時間、

今後の少子高齢化、人口減少を考えれば、負担軽減と安定した財源を確保する仕

組みが必要ではないか。

教育長 負担になるとは聞いていない。現状でよいと

考えている。

質問 意見・要望は多数ある。実態を把握し対応策を

考えていただきたい。

教育長 後援会費を含め、そのような声があることを初めて聞いた。今後研究していく。

質問 この度、教育振興基本計画とスポーツ推進計画が配布された。児童・生徒のスポーツ活動の充実をはかるとしているが具体策は。

教育長 参加しやすい仕組みを作り、環境整備を進めていきたい。

質問 小学生のスポーツ活動に補助金や大会支援など

を行っているが今後の対応

はどのように考えているか。

教育長 それぞれの活動状況を見ながら考えていく。

質問 活動が充実しているスポーツに対して、町からの支援策を拡充できる仕組みがあればと思うが。

教育長 いろいろな情報を共有しながら検討したい。

質問 寄附金の使用施策はどのように決めているか。

総務課長 予算編成時に財政部局で寄附金の目的に合った事業へ充当している。

質問 その際に関係団体などから情報収集や活動実態の把握はされているか。

総務課長 予算編成の中でヒアリングもするが、主に

ふるさと納税(寄附金) 夢・ワンパク子ども 応援賞

質問 各小学校への補助金を9月には交付してほしいとの要望がある。常任委員会、総会の開催など、今後のスケジュールをどのように考えているか。

教育次長 6月中に監査、原案の作成、7月に常任委員会を開き、秋までには総会を開きたいと考えている。

は財政部局で決めている。

ジュニアスキー 連絡協議会

質問 29年度の要望・意見を踏まえ今年度の事務局案はどのように考えているか。

教育長 昨年度の要望を真摯に受け止め、一部変更した部分もある。今年度も常任委員会が納得できる予算を立てたいと考えている。

質問 各小学校への補助金を9月には交付してほしいとの要望がある。常任委員会、総会の開催など、今後のスケジュールをどのように考えているか。

教育次長 6月中に監査、原案の作成、7月に常任委員会を開き、秋までには総会を開きたいと考えている。

は財政部局で決めている。



※ 09' 春季全国大会に出場した町の選抜チームスポーツ・部活動を通して青少年の健全育成と高みを目指せる環境を (写真提供：北信ロカール)

相次ぐイベント中止 どう考えるか

町長一時代のニーズ捉えみんなと一緒に

イベントの あり方は

町長 様々なコンセプトで町あるいは各種団体の手で企画・開催されている。財政面や人材不足、時代のニーズにそぐわないなどの理由から廃止につながっているものもあると承知している。様々なニーズを捉え、

地域の皆さんと一緒にやって行くことが大切。今後も町の魅力発信のため、地域の活性化のために取り組んでいきたい。

質問 数年前に中止になった春のよつてかっしやいイベントにつき、今度はえびす講が神事のみになった。三休しあわせめぐりは中止、湯田中温泉夏祭りは縮小の方向、県知事杯ゲートボール大会も中止。とくに昨年

60回を迎えた町委託事業である煙火大会が中止決定された。どう感じているか。

町長 歴史があり、町に寄与してきたイベント。楽しんでいただいていた町民や観光客の皆さんがいたので、非常に残念というのが率直な気持ち。時代に合わなくなってきたり、資金や役員の出労が大変だったりというところもある。過去に煙火大会の寄附が少なくなつて



2018玉村町田園夢花火（7月14日）

きたときに町から補助するようになった。私も課長時代に協賛金集めに奔走したことがあるが、最近お聞きした協賛金額はあまりにも

少なくなつていて正直驚いた。この町では、町が中心にイベントをやつて各種団体や町民が協力するというスタンスになつてしまつていて、これを直さなければと観光連盟の役員とも話した。オリンピックのときに

あんなにみんなが燃えていた、あのうねりがまちづくりにイベントにも生きてくればいいと思う。

集客効果よりも 町の魅力発信を

質問 イベントを考えると、この町では地域の振興や町の魅力発信よりも宿泊客の集客が第一義的的になつてしまっているのではない

か。だから集客効果が薄れてくると「やめよう」ということになつてしまう。小布施の「見にマラソン」や中野の「バラ祭り」はボランティアも多く、大きなイベントになつてはいるが、けして宿泊客の集客効果目当てはない。

町長 町が取り組むイベントでは、職員には自分たちがまず楽しもうと言っている。自分が楽しくなければ参加者も楽しくない。楽しくやればいろんなアイデアも出てくるし、いやいややればミスや手抜きも出てくる。営利的だけでなく、皆さんに喜んでいただける、楽しんでいただけることに公共のお金を投資することはいいことだと思つている。



わたなべ まさお
渡辺 正男

VAR（ビデオ・アシスタント・レフェリー）が勝敗をも左右したWカップ。技術革新がスポーツを変えつつある。

渡辺正男のつぶやき



たかだ よしひさ
高田 佳久

※1特定空き家：そのまま放置すれば倒壊など著しく保安上危険となるおそれのある状態又は著しく衛生上有害となるおそれのある状態、適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態、その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態であると認められる空き家。

※2改正FIT法：固定価格買取制度が定められた電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法が、太陽光発電に偏った中身を改めるとともに、国民負担の抑制と再エネ導入促進の両立を目的として2017年4月に施行されたもの。

老朽危険空き家対策の迅速な取り組みを

町長—空き家等対策計画案を策定

質問 空き家対策の進捗状況は。

町長 年々増加傾向にある空き家対策として、昨年、庁舎内会議を設置し、空き家等対策計画案を策定。今後、空き家対策協議会を設置して計画を策定し、空き家対策を推進したい。

質問 実施したい。

建設水道課長 協議会の意見を伺い、特定空き家と認定することもやぶなかではない。

質問 空き家条例の策定は、必要性について、意見を伺いたい。

建設水道課長 先行市町村の状況を確認し、協議会で

地球温暖化防止対策の推進を

質問 地域新エネルギービジョンの進捗状況は。

総務課長 雪氷熱利用では、25年度に雪冷熱利用農産物等貯蔵施設を整備し、活用協議会により活用。

太陽光発電システム設置補助金は、昨年度までに41件で515万円を交付。

温泉熱利用設備導入補助金は、昨年度までに25件で637万円を交付。

小水力発電は、昨年度までに実績はない。本年度、県の補助制度活用を検討する事業者がある。

質問 改正FIT法を踏まえ、太陽光エネルギーに関する補助制度の今後は。

総務課長 検討はしていないが、今後、状況を見て研究していきたい。

健康福祉課長 第2次計画の検証を踏まえ、早急に策定する。

質問 地球温暖化防止対策推進法では、計画の策定と公表は義務づけられているが、当町での公表は。

健康福祉課長 今まで公表している経緯はない。

質問 足立区とのカーボンオフセットに対する検討状況は。

健康福祉課長 昨年の6月以降、カーボンオフセット制度の運用に向けた研究を始めた。

質問 第3次地球温暖化防止実行計画の策定は。

足立区については、必要な情報を収集し、できる連携をはかっていきたい。



倒壊の危険が高い空き家

計画策定にかかわらず、空き家対策特別措置法に基づき、緊急性などを把握し

地方議会のなり手不足の要因は、①立候補リスク②議員報酬③議員の仕事が不明、やり甲斐が感じられないとのこと。

高田佳久のつぶやき

夜間瀬川・角間川左岸道路の安全対策は

建設水道課長一引き続き関係機関と調査・研究していく



もちづき さだあき
望月 貞明

※アンケート調査：公明党が子育て、介護、防災・減災、中小企業について4月から6月まで全国100万人に行った訪問アンケート調査。当町では延べ382人に実施した。

質問 住民にアンケート調査を実施したら危険箇所としてこの道路が指摘された。
建設水道課長 当該道路は堤防に県の許可を得て町道としている。堤防機能を損ねることなくガードレール設置することと、経費・工法など難しい問題がある。
質問 3年前にも質問している。交通量が多いと思われるが、交通量調査は。
建設水道課長 今後、実施するかを含め検討する。
質問 右岸道路にはガードレールが設置されている。護岸と柵の基礎を一体構造にすれば設置可能なのか。
建設水道課長 設置の詳細は把握していない。右岸が国道だったからと推察する。
質問 道路状況は以前と全く変わっていない。当該道路では、転落事故も発生し



左岸道路、ハンドル操作を誤れば転落の危険

ている。安全対策が必要ではないか。
建設水道課長 安全対策は必要と考え、引き続き関係機関と調査・研究をしていく。
消防団員の年齢構成は
消防課長 20代97名、30代

188名、40代82名、50代20名、60代以上28名。
ポンプ操法大会年代別に審査は
質問 消防団員の負担が一番重いのは、ポンプ操法大会出場に向けた練習である。選手に若者を選出できない

部では、若者との順位づけを強いられる大会への出場に難色を示す団員がいる。同年代同士で競い合うとすれば出場意識も高まる。年代別の審査は。
消防課長 ポンプ操法大会は順位を競うのではなく日頃の練習成果を披露する場である。

空き家の現状は

建設水道課長 空き家数は28年調査で330戸、危険になる恐れがあるものは71戸、周囲に悪影響を及ぼすもの23戸ある。

質問 今後、空き家の管理はどう行っていくのか。
建設水道課長 場所は確認したので、今後、固定資産税から所有者を特定し、データベース化していく。

質問 管理されていない空き

家への対応は。
建設水道課長 設置要綱が決まった、空き家対策協議会を早く人選して立ち上げ、そこで対応していく。

固定資産税をゼロとする生産性向上特措法への対応は

観光商工課長 導入設備に関する税条例を専決改正した。今後、促進基本計画策定をはかつていく。
質問 この生産性向上特措法の対象企業数は。

観光商工課長 対象企業に旅館も含まれ、町の中小工業者全てが対象となる。
質問 今後の進め方は

観光商工課長 基本計画策定後、事業者等に設備などの導入計画を作成していただく。

西日本に記録的豪雨、気象庁が「50年に一度の大雨特別警報」を5年で8回も発表。近年の台風や梅雨末期豪雨の巨大化は、地球温暖化進行の影響か。

望月貞明のつぶやき

「魅力的な観光地づくり」に向けての 自己評価は

観光商工課長―目標達成に向け種まきはできている



ふせやひろみ
布施谷 裕泉

※観光交流ビジョン：当町の観光施策をまとめた計画で現在は第3次。期間は平成28～32年度までの5年間で最終年度の年間観光客数の目標値を550万人としている。

2030年には訪日外国人の観光延べ宿泊数が、日本人の1.4倍の規模になるとの予測も。対応は大丈夫か。

布施谷裕泉のつぶやき

来町者の意向調査を

質問 町の観光交流ビジョンでは「千客万来」より「一客再来」に重きを置くべきと記している。その数字の把握はされているか。

観光商工課長 統計を取っていないのでよくわからないが、そんなに多くはないと思う。

質問 お客様の意向を知る上で、リピーター調査や満足度調査は必要不可欠。個々の旅館では実施されていると思うが、町としても数字の把握につとめるべきでは。

観光商工課長 当町の場合

は三つの大きな観光地を抱えており、全てにおいての

調査は難しいことから、これまで行われなかった。し

かし一地点でとらえれば実施は可能。今後検討したい。

や、須賀川では「新日本歩道紀行百選」に登録された「とりで街道」などがあり、その地域に光を当てる

質問 その理由は。
農林課長 取り組むメリックが感じられないという意見が多い。



地域資源を守るために
(須賀川区会の呼びかけで毎年実施される「とりで街道」の草刈り)

「歴史・文化ツーリズム」を冠にした取り組みを

質問 当町にはいたるところに史跡があり、地域それぞれに多様な文化も根付いている。これまでの歴史・文化にかかわる取り組み事例は。

観光商工課長 歴史文化も幅広くなり、町の文化財を活用した観光ツーリズムもその一つと考える。ただ神社仏閣や史跡と結び付けた取り組みはあまりない。

質問 例えば佐野遺跡巡り

こと地域振興にもつながる。あらためて「歴史・文化ツーリズム」を冠にした取り組みを求めたい。

町長 それぞれの魅力を歴史的に残すだけでなく住民の誇りにつなげるためにも大いに活用していきたい。

環境に優しい農業推進

質問 エコファーマー認定者の推移は。

農林課長 28年度60人から29年度20人と激減している。

質問 コネスコエコパークの町であるからこそ「環境に優しい農業」に取り組み意義があるはず。対応は。

農林課長 意義は理解しているが、特に果樹では減農薬・有機に取り組む手間と費用で難しい面がある。

質問 県の認証制度にプラスして町独自の推奨制度を創設できないか。

農林課長 振興会議などで意見を聞きながら、県とも相談して対応したい。

60年の歴史ある花火大会の中止は

町長一時代・歴史を大切に、物事は続けていくことが大切

【質問】 6月8日発行地方紙の、一面、トップ記事で、びっくりされた住民が大勢いらっしゃる。

花火大会 中止の理由は

観光客が年々減少、町民やその知人の鑑賞が目立ち、「親戚の花火大会と化し、本来の目標（誘客）から遠のいた」とあるが、親戚の花火大会と化すことこそ、それだけ町に根付いている証拠だ。

60年の積み重ねで、地域と町民の心にしつかりと根付いた伝統行事だと関係者は気づいていただきたい。町観光連盟関係者が、「新たな別の事業を」とされているが、60年続いている行事をこの程度の理由で、あっさり廃止する方が、今後



消えた、花火大会

60年続く行事を発想できるとは思えない。じつは続かなくていい。

予算が無い、 人が足りない

物心両面で足りないなら、結論を出す前に、なぜ地域で暮らす多くの人に声をかけなかったのかと考える。知恵を出し合う中で一つの

日本版DMOとは

日本版DMOの受け皿は町観光連盟とされているが、観光庁はDMOに関して、「地域への誇りと愛着を醸成する観光地経営の視点に立った地域づくりのかじ取り役として、多様な関係者

観光地に住む 住民のメリット は何か

地域の住民が、観光地に住んで良かったと思えるものは一体何か。

町長 時代や歴史を大切にしながら、時代の改革をして、物事というのは続けていくことが大切と、常に思っている。またイベントは、

と共同しながら明確なコンセプトに基づき地域づくりを実現する戦略を立て、実施するための調整機能を備えた法人」と示しているが、連盟の一連の動きは、この趣旨から大きく外れている。「住む人、訪れる人」ではなく、「お泊りになる方」だけに目をつけていることがはっきりした。

やるのがすべて営業に結び付くということではなく、それぞれの住民や観光客の皆さんに感謝をしたり、サービスする。その一環だと思っている。町としても、活性化のため、また、住民の皆さんが元気を出す、元気な町づくりの一環として、さまざまなイベントをして町の元気を町内外にアピールしている。また、いろいろな皆さんに参加していただき、互いに、住民としての絆を深めるといった意味もあると思っている。イベントでも、いろいろな行事には、それぞれ思いも、過去の歴史や経過もあるので、そういうものを大切にしながら時代にマッチした対応をしていく。



やまもと りょういち
山本 良一

知恵を働かせ
汗を流して働けば
えびすさんが福を
授けてくれるそうです。

山本良一のつぶやき

消防団の機構改革が必要と思うが



こだま しんじ
児玉 信治

町長—消防防災委員会で検討する

消防団の機構改革は

質問 当町の人口は、2015年を100とする2025年は81、2035年は64と予想されている。将来的に、現状維持は困難となることが予測される。今後のあり方について検討すべき時期と思うが。

町長 改革については、地域の状況を十分把握し、有事の際、機能低下が生じないよう、地域消防団と相談しながら、消防防災委員会において検討していく。

質問 現在、町内で17部組織されているが必要と考えるか。



町消防団観閲式 どこまでつづく、今の機構

消防課長 現状では、必要と考えているが将来的には、柔軟な対応が必要との認識をもっている。

農業振興は

質問 転職者には、新規就農のための研修が必要である。研修費は負担が重い。補助制度創設を。

農林課長 現在、国の補助制度として、農業次世代人材投資事業の準備型が実施されている。就農予定時の年齢が45歳未満で、県が定めた研修機関などで研修を受ける方は、年間150万円が最長2年間を対象として交付金が支給される。現在、町単独での補助制度創設の予定はないが、県や近隣市町村の状況を把握するとともに、地域の振興会議

などでも情報を共有しながら検討していきたい。

質問 現在の補助制度も、ハードルが高くなり該当者が少ない状態である。国・県への具申はされているか。

農林課長 補助制度の交付要件の中には、取り組みにくい部分もあることから、県選出国会議員や県議との意見交換会、関東農政局との懇談会の場において実情を話し意見を述べている。今後多様な機会を通じて、地域の要望を伝えていく。

図書館利用は

質問 小・中学生の読書の状況は。

教育長 児童・生徒の自発

的な読書活動がはかられるよう、学校では朝や清掃後に読書時間を設けている。また地域ボランティアや高学年児童が読み聞かせるなど、読書への関心を高める図書館教育を充実させている。

質問 蟻川図書館の歴史について子どもたちに話しているか。

教育長 子育て支援の「ゆめっこ」では、読み聞かせの依頼があった際には、成り立ちや寄贈者の思いなどを伝えている。

質問 蟻川氏の意志を子どもたちに、もっと話すべきと思うが。

教育長 その通りだと思う。

河川の草刈り作業に大勢の皆さんの協力感謝、感謝。それにしても人間のパワーはすごい。壮観な光景を、脳裏に焼き付けておこう。

児玉信治のつぶやき

議員に欠員が生じた場合の 補欠選挙について

町議会では、小林民夫議員死去により、4月1日から議員定数14名に対し1名欠員になっております。

町議会における補欠選挙については、公職選挙法（第112条および第113条）に下記のように規定されています。

- 1、欠員が定数の6分の1を超えたときに補欠選挙を行う。
- 2、ただし、この条件に満たない場合でも町長選挙等の告示の10日前に欠員があれば町長選挙等と同時に補欠選挙（いわゆる便乗選挙）を行う。
- 3、補欠選挙を行うべき事由が発生した場合、50日以内に行う。ただし、任期満了の6か月以内の場合、補欠選挙は行わない。

したがって、現状の欠員1名のまま、任期満了（2019年3月4日）に伴う町長選挙のときは議員の任期満了（5月31日）の6か月以内となりますので、補欠選挙は行われません。

議会全員協議会

第8回（6月5日）

- 1 執行機関からの提出案件
 - (1) 楽ちんバス
 - ①運行経路およびダイヤの改正
 - ②10月からの有償運送における運賃
 - ③30年度町生活交通確保維持改善計画
 - (2) 全国煙火競技大会兼長野県後継者花火コンテスト
 - ①町観光連盟の中止決定に至る経過

- 2 議会からの提出案件
 - (1) 各審議会等の出席者報告

第9回（6月18日）

- 1 執行機関からの提出案件
 - (1) 町教育委員会教育長の任命
- 2 議会からの提出案件なし



やまびこ広場に設置予定の噴水施設（イメージ）

第10回（6月18日）

- 1 執行機関からの提出案件
 - (1) やまびこ広場のリニューアル
- 2 議会からの提出案件
 - (1) 佐々木教育長退任による庁舎玄関見送り
 - (2) 議会活性化
 - (3) 審議会等出席者報告

お詫びと訂正

本誌4月号27ページ
の国民健康保険税条例改
正の記事中「国保税分」
は、正しくは「医療費分」
でした。お詫びして訂正
します。

を改善すべきか

管内視察報告

総務産業常任委員会

6月12日(火)に管内7か所の視察を行い、その後、各所管課の課長・係長と懇談会を開催しました。

旧北小学校

旧北小学校の現状視察と現時点の整備計画(案)を確認しました。公民館施設貸事務所、児童クラブなど北小学校空き施設利用検討協議会と協議をしながら計画を策定しています。



利用計画策定作業が進められている

竜王SORAterrace (ソラテラス)

賃貸借契約をしている町の貸付地である竜王スキー場を中心に施設を確認しました。

当日はあいにくの空模様で霧に覆われていましたが、展望デッキ(SORAterrace)は人気の観光スポットとして賑わいを見せています。



この工事により水路の氾濫が解消される

西堀水路(宇木地区)

着工以前は土水路で頻繁に氾濫して隣接する農地が水浸しになったり削られたりしていました。平成28年度から3年かけて整備を行い改善をはかっています。本年度が工事最終年となります。



霧の中のSORA terrace(ソラテラス)

○工事概要

総工事費
約1130万円(予定)
水路工
一体型柵渠800×800
施工延長
L1168.27m

志賀高原ロマン 美術館

春季企画として4月28日から7月16日まで開催されている「中山徳幸展」を視察しました。所管は教育委員会となり社会文教常任委員会が担当となりますが、観光施設の側面もあることから状況を確認しました。



中山徳幸展の広告チラシ(両面)

志賀高原総合会館98

29年度に施設の長寿命化をはかるため、屋根改修

外壁改修を行い、あわせて誘導灯改修(LED化)、駐車場側溝修繕、舗装工事を行いました。総工費は約7600万円となっています。



改修工事により30年の長寿命化がはかられた

猪谷千春記念館

29年度リニューアルオープンされた猪谷千春記念館の展示状況を確認しました。名誉町民であり、アルペンスキーで現在まで唯一のオリンピックメダリスト(イタリア・コルチナダンベツォ銀メダル)である猪谷氏の足跡がわかる品々が展示されていました。

東部浄水場

現在の運営状況を確認し

ました。昭和43年に竣工(同53年に増築)され、老朽化が進んだことから更新工事が予定されており、基本設計を本年度予算に計上しています。



現在の東部浄水場

懇談会を開催

視察終了後、文化センター郷土資料室で各所管課の課長・係長と委員による懇談会を開催しました。



委員と所管課の課長・係長懇談会

社会文教常任委員会

6月12日（火）に管内の視察研修を行いました。
今回は、町内外合わせて、全部で6カ所でした。



新しく改装されて、身障者用トイレも設置された

すがかわ体育館

昨年、旧北小学校の体育館を社会体育施設として、改修工事を行いました。屋根、外壁のほか、トイレ、体育館アリーナ床改修、グラウンドに面した倉庫ドア補修・正面入り口手すり設置など合わせて、総額約7800万円をかけました。それにより、30年の長寿命化がはかられました。29年度利用状況は、年間27団体、89回の利用がありました。町民は原則無料です。

西小学校



タブレット端末を活用した授業

ユネスコスクールに認定されて、ESDの状況や実際の授業を見ました。タブレット端末を使用したり、小グループで話し合いながら授業を進めたり、アクティブラーニングの手法を取り入れるなど、先駆的な方法を活用しておりました。自然豊かなこの町での教育がレベルアップされることを願います。

学校給食センター

ここ3年で約2億円の投資を行いましたので、

その後の状況とともに、実際に給食も食べさせていただきました。とてもきれいになり、清潔な状態で調理ができています。一方で人手の確保などの課題が浮き彫りになっていました。

豊田興産

プラスチックごみの分別が始まったので、その収集状況や分別後の処理は何か行われているのか見てきました。



ボールと呼ばれる中間処理された梱包物

集めたプラスチックの製品を1メートル角くらいの梱包物（ボール）に圧縮し、それを次の工程のプラスチック加工をする工場へ運ぶのがこの会社の役割でした。

CPR飯山工場

豊田興産で作られたボールから再生プラスチックパレット（フォークリフトで積み荷を運びやすくする土台）を製造する工場でした。一日1300個の生産をしています。大変大きな工場で、光センサーを使って、プラスチックの自動選別をして



背よりもはるかに高く積まれたパレット

特別養護老人ホーム高社の家

いる機械もあり、大変画期的でありました。ただ、それでも不適用も多く出て、それは、ごみとして処理されるということでした。

高社寮の老朽化にともない、民間に移管して新装オープン（30年3月1日）しました。運営は木島平村のみゆき福祉会。最新の設備とモダンな意匠で非常に快適な空間となっていました。廊下幅もベッドのまますれ違いや回転のしやすいように広く設計されておりました。



広々とした空間が特徴的だった高社の家

「茶柱を議員手帳に冬の雨」



平成30年第3回定例会初日、去る3月31日66歳の若さで病気のため急逝された故小林民夫議員に対し、同僚議員である議会運営委員長の高山祐一議員が追悼の演説を行いました。

ここにその全文を掲載し哀悼の誠を捧げるものです。

故小林民夫議員の追悼の辞

お許しを頂きましたので、議員一同を代表して、故小林民夫議員の急逝を悼み謹んで哀悼の意を表します。

本日ここに、平成30年第3回議会定例会の開会に当たり、今、2番議席には在りし日の凛とした君の姿なく、警咳に接することも叶わず、菊の花々ただ虚しくたずむを見て、議員一同惜別の情を禁じ得ないところでありませぬ。

私は、民夫くんとは同年であり、同じ沓野区に生まれ育ち、なおかつ昭和53年5月私の結婚式の司会を務めていただき、そして昭和63年11月君の結婚式にはお返しに

私が司会を務めさせていただきますました。そんな縁で追悼演説の任を賜りまして、哀悼の言葉を述べてさせていただきます。

君は、昭和26年6月28日上林温泉の老舗旅館経営の小林治人・作美ご夫妻の次男として、また、山ノ内町長を昭和31年から39年の8年間とお務めになった、小林茂氏の孫としてこの世に生を受けました。頭脳明晰の君は長野高校から当時観光光学科があった立教大学へ進学され、将来観光に携わることが決めていたことがうかがわれます。

平成27年4月の町議会議員選挙において初当選を果たされ、1期目の前期2年間は社会文教常任委員会の副委員長と広報委員、後期の2年間は広報常任委員会副委員長と社会文教常任委員を歴任し、議会活動に邁進されました。

平成30年6月5日 山ノ内議会代表 高山 祐一



プロフィール

山崎 龍平

- ・1986年山梨県上野原市生まれ
- ・白梅学園大学子ども学部子ども学科卒
- ・東京で保育士として勤務後、結婚を機に長野県に移住
- ・現在、「里山ようちえんおやまのおうち」園長
- ・奥様と1男1女の4人家族

みんなのひろば

今回は、須賀川で古民家を改修して「里山ようちえんおやまのおうち」を運営されている、やまちゃんこと山崎龍平さんに自然保育にかける思いを語っていただきました。

自然保育のようちえんをなぜ須賀川で

学生時代から漠然と「ようちえんを創りたい」という夢がありました。保育士として働きながら子ども学、自然、建築、アート、哲学などを学ぶうちに、いつしか田舎への移住を考え始めるようになりました。妻の実家が飯山市だったことが転機でした。ちよ

ちよく通ううちに北信州の四季の移ろい、自然の豊かさに惹かれていきました。これまでの保育の知識、経験をもとに「納得のいく子育てをしたい」と2014年春、妻の実家を頼り飯山市に移住。仕事で通っていた北志賀高原の山里の環境に魅力を感じ始めていた同年秋、須賀川で築120年の古民家と出会いました。「金はないけど時間と体力



歌で始まる朝の会
今日どんな遊びをするのか自分で決めて発表します

遊ぶことは生きることと 学びは遊びの中にある

とやる気だけはある」と2年がかりでセルフリノベーションし2016年夏に引っ越し。そして2017年春、ついに「里山ようちえんおやまのおうち」を開園。夫婦の夢、理想のようちえん創りのはじめの一步を踏み出すことになりました。

おやまのおうちの 保育理念や保育方針は

現在、町内外から6人の

子どもたちが通っています。広くて傾斜のある庭、流量豊富な水路、周囲の田んぼや畑、里山など、自然豊かな環境を生かした屋外での活動が中心です。「食・寝る・遊ぶ」を理念として、子どもたちの自発的・主体的な遊びに寄り添うようにしています。「遊ぶことは生きること。学びは遊びの中にある」が保育方針です。

自然保育の効果は

「これ何だ?」「やってみよう」という好奇心や自発性がグングン育つ乳幼児期。この欲求を満たすがイタズラ(探索活動)です。身の回りの世界を発見したり、自分の体の動きを試したり、子どもたちは自立していくための第一歩をイタズラによって踏み出しているのです。イタズラは「遊び」。遊びから学んでいるのです。

園庭に出るだけで毎日たくさん発見があります。春夏秋冬、毎日変化する自然はたくさんを教えてくれます。子どもたちの気づきや発見に寄り添い、体験的に学ぶことを大事にしています。

「なんでだろう?」に立ち止まり、考えたり調べたり観察したりすることによって、体験は次第に知識へと変わっていきます。

「遊びによって主体的に学ぶ」ことで、子どもたちは自立心、知識、想像力、忍耐力、自己肯定感、問題を解決する力など、生きる力を身につけていきます。

編集後記

『中学生が夢みる町づくり討論会』と題して、町長はじめ町内各界の人々が参加して校内で開催された。4グループに別れての討論会で、私はAグループに。テーマは町内設備・インフラ、他地域との連携、金について。他のグループは、観光、自然活用、交通など。

校内でのアンケート結果で、「将来山ノ内に住みたい」が250人中108人、我が町も捨てたもんじやないなあ。

翻(ひもと)つて約50年前、自分が中学生の時、考えていたのは部活と勉強のことばかり、町のことや社会のことなどほとんど考えていなかった。ましてやインフラや財政のことなど皆無だった。ESD学習で自分の町に誇りと自信を持つ姿勢にバンザイ。地域の活性化のキーワードは「よそのもの、ばかもの、わかもの」その若者に期待。(高山祐一 記)